

音楽芸術の現状と未来へ、本気の危機感を投げかける！ 第20回佐治敬三賞推薦コンサート

ぎふ未来音楽展2020

MUSICA CRAS GIFU 2020

Masabiro Miwa Festival

三輪真弘祭 —清められた夜—

Purified Night

ライブ配信イベント

2020年9月19日(土) 22時配信開始 23時開演 26時終演
スタンバイ

サラマンカホールよりライブ配信 視聴無料

出演

川口隆夫 (ダンス)
岡野勇仁、西村彰洋 (MIDI アコーディオン)
塚谷水無子 (オルガン)
江原優美香 (箏)
ほんまなほ (ルバブ)
マルガサリ (ガムラン・アンサンブル):
大井卓也、黒川岳、谷口かな、中川真、
西村彰洋、森山みどり 他
公募パフォーマー

出品作家

作曲・企画・構成: 三輪真弘
映像監督: 前田真二郎
フォルマント音声合成: 佐近田展康
詩: 松井茂
写真: 麥生田兵吾

演目

三輪真弘 《鶏たちのための五芒星》(2020 サラマンカホール委嘱 世界初演)
ヨハネス・オケゲム 《死者のためのミサ曲》(15世紀) MIDI アコーディオンとオルガン版
フォルマント兄弟 《霊界ラヂオ》+《ボイパと海行かば》(2020)
三輪真弘 箏と風鈴のための《もんじゅはかたる》(2019)
三輪真弘 《神の旋律+流星礼拝》(2020版)

配信ページ



<https://miwafest.net> 無観客開催。会場への入場はできません。

主催: サラマンカホール
共催: 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]、京都大学人文科学研究所
制作: ナヤ・コレクティブ

Masabiro Miwa Festival - Purified Night -

19 September 2020 (Sat) 22:00 open, 23:00 start | Live streaming from Salamanca Hall (Gifu, Japan)

サラマンカホール



SALAMANCA HALL

【お問い合わせ】サラマンカホール事務局 : 058-277-1113 (9:00~17:30)

日本の現代音楽界を独走する作曲家・三輪眞弘が送る、
 一夜限りのライブ配信公演が決定！
 予期せぬ新型コロナウイルスがアーティスト、音楽ホールの動きも停滞させ、音楽の発信の場はやむなくオンライン中心となった2020年上半期。音楽と観客の一体空間という、かつて当たり前だった姿が成り立たなくなったポストコロナ時代に、音楽は社会の中でどう生き延びていくか。音楽の歴史は根本的に変わってしまうのか。これからの音楽は、どこに光を見出せるのか。11月20日・27日「音楽の終わりの終わり」とも呼ぶこの状況を、日本へ、そして世界へ向けて問うべく、「音楽による音楽のためのお通夜」を岐阜市のサラマンカホールから無観客開催・ネット配信する。西洋音楽の祭壇、パイプオルガンと共に、J・オケゲムのレクイエムを人工音声で歌い、「霊界ラヂオ」が死者の声を傍受する。さらに今回発表される新作「鶏たちのための五芒星」では、人類の芸術を偲ぶ秘儀にオンライン上に接続された人々が立ち会うことが期待されている。それはまた、2000年に発表され17年後に再演された三輪+前田のモノログオペラ「新しい時代」が描いた世界が今、現実となったということかもしれない。

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 共催。先端的技術とアートの融合に挑み続ける研究・教育機関との連携により、従来のサラマンカホールの来客層はもとより、地球上の様々な人々がネットワーク・システムの端末として、この一夜限りの出来事の証人となるだろう。—— 三輪眞弘

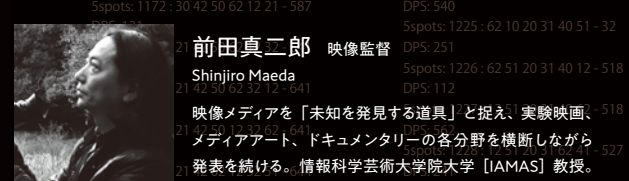


「鶏たちのための五芒星」(2020 サラマンカホール 委嘱・世界初演) 公演イメージ (ダンス: 川口隆夫) photo: shinjiro maeda

- 出品作家**
- 佐近田展康** Nobuyasu Sakonda フォルマント音声合成
音楽家、メディアアーティスト、メディア理論研究者。独自に開発した歌声のリアルタイム合成による作品制作を行う。「フォルマント兄弟」の弟。名古屋学芸大学映像メディア学科教授。
 - 松井茂** Shigeru Matsui 詩
詩人、情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 准教授。詩集に「二●二●」(engine books, 2020年)、共編に「虚像の時代」(東野芳明美術批評選)(河出書房新社、2013年)等。
 - 粟生田兵吾** Hyogo Mugyuda 写真
「Artificial S」という一つの主題に専念し制作活動中。2010年より写真活動「pile of photographs」をweb上で発表し続けている。



三輪眞弘 Masahiro Miwa
 1958年東京生まれ。ベルリン芸術大学、ロベルト・シューマン音楽大学で作曲を学ぶ。2004年芥川作曲賞、2007年プリ・アルスエレクトロニカでグランプリ (ゴールデン・ニカ)、2010年芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞。「三輪眞弘音楽藝術 全思考一九九八〜二〇一〇」をはじめ、CD「村松ギヤ (春の祭典)」や楽譜出版など多数。旧「方法主義」同人。「フォルマント兄弟」の兄。情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授。



前田真二郎 映像監督
 Shinjiro Maeda
 映像メディアを「未知を発見する道具」と捉え、実験映画、メディアアート、ドキュメンタリーの各分野を横断しながら発表を続ける。情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授。

- 出演者**
- 川口隆夫** Takao Kawaguchi ダンス
1996年パフォーマンスグループ「ダムタイプ」に参加。2000年ソロ活動開始。世界38都市で公演された「大野一雄については、ニューヨーク・ベッシー賞(2016)にノミネートされた。
 - 岡野勇仁** Eugene Okano MIDIアコーディオン
東京音楽大学ピアノ科卒。ジャンルを超えた多彩な活動で知られる。フォルマント兄弟の合成音声作品をMIDIアコーディオンで多数実演。
 - 西村彰洋** Akihiro Nishimura MIDIアコーディオン
ピアニストとして活動する傍ら、現代音楽、ガムラン、ブルース、音楽教育の分野など、多種多様な演奏研究と音楽活動を国内外で展開。
 - 塚谷水無子** Minaoka Tsukatani オルガン
東京藝大卒業後、オランダでの演奏活動を経て帰国。パイプオルガン、他、ピアノ、チェンバロ、編曲もこなし、世界初演も多数手がける。
 - 江原優美香** Yumika Ehara 箏
箏演奏家。伝統楽器である箏を古典と現代の両面から見つめ、演奏している。東京藝術大学卒業、同大学院修了。
 - ほんまなほ** Naho Homma ルバ
ガムラン奏者・パフォーマー。ジャワガムランの伝統音楽から新作まで国内外での公演に出演するほか、歌、詩、踊りなどの共同創作にも取り組む。
 - マルガサリ** MargaSari ガムラン・アンサンブル
大阪府豊能町を拠点にジャワガムランを用いた表現活動に取り組む。三輪眞弘の新作初演など、現代ガムランの領域で活発な活動を展開している。

プレイベント開催
 ぎふ未来音楽展2020 三輪眞弘祭 - 清められた夜 -
 ブログ「音楽の終わりの終わり」は、ここからはじまる——。
 2020年8月28日(金) 19:00~20:30 (18:45より配信開始)
 サラマンカホールよりライブ配信 (視聴無料) <https://miwafest.net>
 第1部 19:00~19:30 三輪眞弘による「三輪眞弘祭」プレゼンテーション
 第2部 19:30~20:30 なぜ、いま「音楽の終わりの終わり」なのか? シンポジウム
 出演 (五十音順):
 岡田暁生 (音楽学者、京大文学部人文科学研究科教授)、前田真二郎、松井茂、三輪眞弘 * 司会: 浦久俊彦 (サラマンカホール音楽監督)

メールアドレス
 ご登録いただいた方限定! 詩(松井茂作)の配信ご案内
 ライブ配信中に、本公演の作品の一部として、会場から視聴者のメールアドレス宛に「詩」を複数回配信する予定です。是非 詩を読みながらサラマンカホールの時間を鶏や出演者たちと共に過ごしてください。この配信を受けるためには事前のメールアドレス登録が必要です。配信を希望される方は以下の要領でメールをお送りください。
 メール送付先: miwafest@gmail.com 件名: 三輪祭メール受信希望
 本文: 送付を希望するメールアドレスのみを記載してください。
 そのほかの情報は記載をご遠慮ください。
 *本公演に関連する情報を事前にお送りする場合があります。
 *いただいたメールアドレスは個人情報として厳正に管理し、今回の目的以外に使用することはありません。

